

序 言

本稿は、故桜井由躬雄先生（東京大学名誉教授・ハノイ大学名誉博士）がハノイ都市形成史を明らかにするために、Nguyen Thi Phuong Anh さん（ハノイ大学ベトナム学科学発展研究センター・研究員）と協力して、ハノイ在住の都市住民にライフヒストリーの聞き取り調査をした記録である。桜井先生は2007年に Hoan Kiem 区（Cua Nam 坊）と Dong Da 区（Kim Lien 坊）、2008年に Ba Dinh 区（Doi Can 坊）、2009年に Hai Ba Trung 区（Quynh Loi 坊）等にて調査を行ってこられた。この調査途中であった2012年に桜井先生は急逝されたため、ハノイ都市形成研究プロジェクトの代表者であった柴山守氏（京都大学名誉教授）とも相談し、大変貴重なこれまでの聞き取り記録を印刷物として残し、研究プロジェクトだけでなく、関係機関に閲覧可能な形で残しておくこととした。

本稿のもととなった記録は、生前の桜井先生がともに調査をした Phuong Anh 氏のベトナム語によるフィールドノートであり、それに、Phuong Anh 氏と柳澤雅之（京都大学地域研究統合情報センター）がプライバシー等に配慮して若干の編集をくわえたものである。その中から本稿では、Hoan Kiem 区（Cua Nam 坊）と Hai Ba Trung 区（Quynh Loi 坊）の記録を公開する（図）。

最後になったが、出版を快く許してくださった桜井三恵子氏をはじめ、桜井先生のご遺族の方々に、心からのお礼を申し上げます。

柳澤雅之・Nguyễn Thị Phương Anh



図 Cua Nam 坊と Quynh Loi 坊の位置
Hình. Vị trí của P. Cửa Nam và P. Quỳnh Lôi